

もっと詳しく！S&P500

～ S&P500指数 Q&A ～

2023年9月8日

米国を代表するS&P500指数について、改めて指数の特徴や魅力をQ&A形式でご紹介いたします。

Q1 S&P500はこの国のインデックスですか？

S&P500® は、米国株式市場の代表的なインデックスです。

ニューヨーク証券取引所やNASDAQ に上場している普通株式などで構成されています。

S&P500は単純に大型株500銘柄から構成されているのではなく、業種分散も考慮しており、米国市場全体を代表する指数となっています。S&P500では、情報技術セクターおよびヘルスケア・セクターのウエートがTOPIXよりもはるかに高くなっています。

S&P500採用銘柄の米国株式の時価総額カバー率は80%程度となっています（2023年8月現在、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスのデータより）。

Q2 S&P500は円高、円安の時はどうなりますか？

円安（例：1ドルが100円から110円になったとき）の時は円換算ではプラスとなります。

円高（例：1ドルが100円から90円になったとき）の時は円換算ではマイナスとなります。

Q3 S&P500の情報はどうやって手に入れますか？

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスのホームページには毎月のS&P500（米国株式）の市況やS&P500の月次レポートなどが掲載されております。

Q4 S&P500の上位組入銘柄の推移はありますか？

5年ごとの年末時点の上位銘柄の推移をみると、近年ではIT関連企業が上位を占めていることがわかります。

上位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1990年	I B M	エクソン	G E	アルトリア・グループ	ロイヤルダッチシェル	プリストル・	メルク	ウォルマート	A T & T	コカ・コーラ
1995年	G E	A T & T	エクソンモービル	コカ・コーラ	メルク	アルトリア・グループ	ロイヤルダッチシェル	ブロックター&ギャンブル	ジョンソン&ジョンソン	I B M
2000年	G E	エクソンモービル	ファイザー	シスコ	シティグループ	ウォルマート・	マイクロソフト	A I G	メルク	インテル
2005年	G E	エクソンモービル	シティグループ	マイクロソフト	ブロックター&ギャンブル	バンク・オブ・アメリカ	ジョンソン&ジョンソン	A I G	ファイザー	アルトリア・グループ
2010年	エクソン	アップル	マイクロソフト	G E	シェブロン	I B M	ブロックター&ギャンブル	A T & T	ジョンソン&ジョンソン	J P モルガン・チェース
2015年	アップル	マイクロソフト	エクソンモービル	G E	ジョンソン&ジョンソン	アマゾン・ドット・コム	ウェルズ・ファーゴ	パークシャー・ハサウェイ	J P モルガン・チェース	フェイスブック
2020年	アップル	マイクロソフト	アマゾン・ドット・コム	フェイスブック（現メタ）	アルファベット A	アルファベット C	テスラ	パークシャー・ハサウェイ	ジョンソン&ジョンソン	J P モルガン・チェース
2023年	アップル	マイクロソフト	アマゾン・ドット・コム	エヌビディア	アルファベット A	アルファベット C	テスラ	フェイスブック（現メタ）	パークシャー・ハサウェイ	エクソンモービル

※2023年は8月末時点

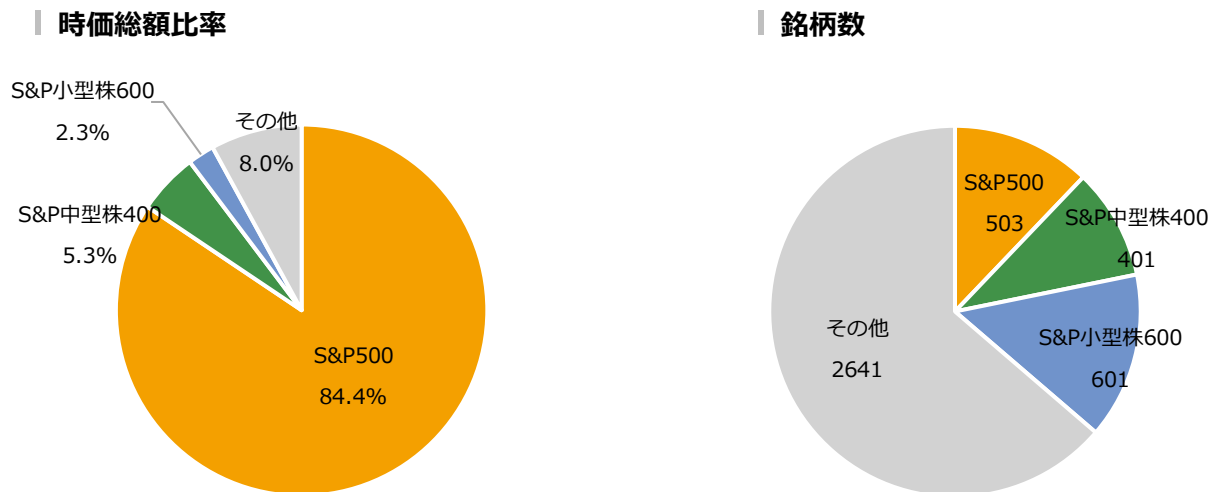
（出所）Bloomberg、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス。企業名は略称記載。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

Q5 S&P500は米国株式市場全体に対しどのくらいの比率を占めていますか？

S&Pトータル・マーケット指数のうち、S&P500は時価総額で約80%を占めており、米国株式市場を代表する指数といえます。



※データは2023年8月末現在。S&Pトータル・マーケット指数を市場全体と想定し大和アセットマネジメントが計算。

(出所) S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス

Q6 S&P500に投資するのは米国だけになるのですか？

株式市場としては米国だけとなりますが、S&P500に採用されている会社の海外売上高は40%以上となっており、売り上げベースではグローバルと言えます。

海外売上高（地域別、%）

地域	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
アフリカ	3.82	3.9	3.97	3.16	4.09
アジア	8.24	8.26	8.46	6.77	7.8
オーストラリア	0.02	0.07	0.07	0.09	0.09
欧州	8.24	8.14	8.13	7.79	7.46
うち英国を除く	6.75	7.02	7.03	5.93	5.58
北米（米国を除く）	2.55	2.79	3.34	1.82	3.94
南米	1.59	1.54	1.68	2.91	2.23
外国	18.43	18.93	17.51	21.82	22.2
合計	42.9	43.62	43.16	44.35	47.82

※S&P グローバル・マーケット・インテリジェンスが提供するデータに基づきS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが集計。
2019年7月現在のデータ。

※過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。表は説明目的のために提示されています。

(出所) S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス

Q7 S&P500に採用されている企業の収益力はなぜ高いのですか？

S&P500の多くの企業は各産業を代表するグローバル企業で、世界の同業他社と比較して、高い収益力を有しております。理由として以下の点が挙げられます。

- ① グローバル企業故に大量の製品を生産しており、原料等の提供会社に対して高い価格交渉力があることでコストを下げる事が可能です。
- ② グローバル企業故に知名度が高く、高いブランド力を活かしてより高い価格で製品を販売し、高い利益率を維持することが可能です。

Q8 S&P500に採用されている企業のブランド力はどうですか？

インターブランド社（ブランドコンサルティング）社の発表した「ベスト・グローバル・ブランド2022年（Best Global Brands 2022）」で報告されている上位25位以内にランキングされたグローバル・ブランドの内、約7割のブランドはS&P500構成企業が所有しています（2023年8月末時点）。

Q9 S&P500とN Yダウの違いはどこにありますか？

N Yダウは米国の代表的な銘柄の価格加重をもちいる長期保有に適したインデックスですが、米国市場全体を反映しているとは言えません。

S&P500は、米国の全主要セクターに投資する浮動株修正後時価総額加重をもちいる指数ですので、米国市場全体の動きをより反映しているインデックスとなっています。

Q10 ウォーレン・バフェットさんがS&P500を推奨したと聞きましたが事実ですか？

2013年のバークシャー・ハサウェイ社株主への手紙で、奥さんへの遺産運用のアドバイスは90%は低コストのS&P500インデックスファンドを買い付け、10%の米国短期国債を買うよう推奨しています。

2016年の株主への手紙でも、低コストのS&P500インデックスファンドを勧めると推奨していました。

また、2017年の株主への手紙では、2007年から10年間の期間でヘッジファンドがインデックスファンドをアウトパフォームできるか賭けを行った結果を公表しており、結果としてS&P500のインデックスファンドのパフォーマンスがヘッジファンドを上回り、賭けに勝ったことを報告しています。

Q11 ウォーレン・バフェットさんとは？

ウォーレン・バフェットさんは、有名な投資会社、バークシャー・ハサウェイの会長兼CEOです。

バフェットさん本人は、S&P500への投資を勧めています。彼が経営するバークシャー・ハサウェイは長年S&P500を上回るパフォーマンスを上げていることでも有名です。

オマハの賢人といわれています。

Q12 アメリカでは、インデックスファンドより、アクティブファンドの方が有利ではないでしょうか？

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスでは、米国株を対象としたアクティブファンドがS&P500をアウトパフォームしているかを調査しています。

2022年末時点で、大型株アクティブファンドのうち、パフォーマンスがS&P500を下回ったファンドは1年間で51.08%、5年間で86.51%、10年間で91.41%、となっており、アクティブファンドがベンチマークを継続的に上回ることは難しいことが示されています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。